

事務事業名 美杉野 2 9 号線道路改良事業

政策:01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策:01 道路網の整備・充実

部名:都市建設部

課名:土木課

基本事業:02 生活道路の整備と維持管理

計画年度	平成15年度	～	平成22年度	事業区分	継続	会計区分	普通会計	
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民、市道美杉野29号線				道路の拡幅と歩道や側溝の設置により道路機能を充実することで、利用者の安全と利便性の向上を図る。 道路の概要（現状） 山武市美杉野（都市計画道路3・9・2号線）～山武市美杉野（さんぶの森元気館） 総延長 220メートル 幅員 4.0メートル 整備内容 整備延長L=220m 幅員W=10.0m 平成21年度 道路改良工事 L=197.3m 側溝工、縁石工、歩道・車道舗装工 工事費 18,737,250円				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
道路利用者の安全性を確保し、利便性を向上させる。								
4 活動指標・成果指標・事業費の推移								
区分	指標名称			単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値
活動指標	年度当たりの市道美杉野29号線道路改良延長			m	0	120	100	-
活動指標	年度当たりの用地買収面積			m ²	0	0	0	-
成果指標	市道美杉野29号線道路改良済延長			m	0	120	220	220
成果指標								
事業費				千円	6,437	18,737	15,000	
				うち一般財源	千円	610	18,737	10,500
5 目的妥当性								
○ 法定受託事業である（根拠法令→） ● 妥当である ○ 妥当性が低い				市道を整備し利用者の安全や利便性を高めることは、道路管理者の責務であり、市の事業として実施することは妥当である。				
6 上位の基本事業への貢献度								
● 貢献度大きい（理由→） ○ 貢献度ふつう（理由→） ○ 貢献度小さい（理由→） ○ 基礎的事務事業				生活道路を改良することは、道路の安全性や利便性を高めることとなるため、基本事業への貢献度は大きい				
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討								
○ 対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる ● 対象や意図の見直しはできない ○ その他				本事業は生活道路の安全性・利便性の向上を図るための事業であり、対象や意図を見直すことはできない。				
8 有効性（成果状況）								
● あがっている ○ どちらかといえばあがっている ○ あがっていない				成果指標のとおり、成果は順調にあがっている。 平成22年度に計画区間全線の整備が完了する予定であり、成果向上の余地は大きい。				
9 有効性（成果向上余地）								
● 成果向上余地・大 ○ 成果向上余地・中 ○ 成果向上余地・小・無し								
10 事業の再編成								
○ 類似の事業があり、再編成できる ○ 類似の事業はあるが、再編成できない ● 類似の事業はない				近接路線に類似事業はない。				
11 効率性（コスト削減の方法）								
○ ある ● ない				現場条件に合わせ最大限に成果が得られる施工方法を検討し、コストの縮減に努めて実施しているため、コスト削減余地はない。				